

山形大学人文社会科学部 編入学ガイド

—人文社会科学部への編入学をめざす皆さんへ！—

編入学とは？

他大学や短期大学（高等専門学校）を卒業し、さらに勉強を続けたいという意欲を持っている方、また他大学の2年次以上に在学中の方を対象として、私たちは「山形大学人文社会科学部第3年次編入学」という制度を設けています。

専門をさらに深めて勉強したい人たち、あるいは、これまで学んできた専門とはまったく異なる学問に挑戦してみたい人たちを私たちは歓迎します。



山形大学人文社会科学部

山形大学人文社会科学部 編入学ガイド

—人文社会科学部への編入学をめざす皆さんへ！—

第1章 人文社会科学部ではこんなふうに学べます！…1頁～7頁

- ・各コースの特色など
- ・カリキュラムマップ

第2章 卒業生の進路…8頁

- (1) 編入学生の進路と就職実績
- (2) 編入学生の主な就職先・進学先

第3章 「単位」と「読み替え」をめぐる少し難解なお話…9頁～

10頁

第4章 編入学生に聞きました！…11頁～15頁



人文社会科学部への編入学をめざす皆さんへ！

第1章 人文社会科学部ではこんなふうに学べます！

人文社会科学部の各コースの特色などは以下のとおりです。

(1) 人間文化コース

特 色：人類学，歴史，言語，文学，映像，哲学，認知心理学など，人間とその文化的活動に関する体系的な専門知識を身につける。

教育目標：人間とその文化的活動に関する体系的な専門知識と教養を身に付けた人材，またそれを基礎として身近な文化資源を発見，理解し，的確に表現，発信できる高度な言語能力と実践力を身に付けた人材の育成を目標とする。

学べる領域：①文化人類学プログラム（文化人類学・環境動態論・アンデス考古学）
②歴史プログラム（日本史・アジア史・ヨーロッパ史・考古学）
③認知情報科学プログラム（認知科学・情報科学）
④日本学プログラム（日本文学・日本語学・日本語教育学・比較文学）
⑤文化解釈学プログラム（芸術文化・表象文化・哲学）

(2) グローバル・スタディーズコース

特 色：英語等の外国語の高い運用能力を基本に，国際社会に関する人文科学・社会科学の専門知識を学ぶ。

教育目標：人文社会科学の分野横断的な専門知識，外国語の高度な運用力，そしてグローバル化に適応できる柔軟な思考力と見識を身に付け，多文化間の相互理解に貢献することができる人材の育成を目標とする。

学べる領域：「国際地域研究」と「多文化研究」の2つの専門教育プログラムによって，国際社会・文化に関する人文・社会科学の知識を総合的に学ぶ。

(3) 総合法律コース

特 色：法律学の基礎知識と幅広い法的思考の術を学び，地域社会の課題を法的な視点をいかして解決する力を身に付ける。

教育目標：法律学の基礎的知識を修得した上で，学際的及び実践的視点を養う教育プログラムの履修を通じて幅広く応用可能な法的思考能力を身に付けることにより，法律学の視座から地域社会の課題解決に取り組むことのできる人材の育成を目標とする。

学べる領域：憲法，行政法，刑法，刑事訴訟法，民法，商法，民事訴訟法，国際法，法哲学，労働法，国際取引法，経済法，など。

(4) 地域公共政策コース

特 色：地域社会やコミュニティが抱える様々な問題を把握・分析し、その解決に取り組むための知識と技能を実践的に学ぶ。

教 育 目 標：地域社会やコミュニティが抱える様々な問題に適切に分析する能力を身につけるとともに、コース横断科目や地域・自治体と連携した実践科目の履修などを通じて、公共政策を主体的に担い地方創生に貢献できる人材の育成を目標とする。

学べる領域：政治学，行政学，公共政策学，社会学，地理学，グローバルガバナンス論，など

(5) 経済・マネジメントコース

特 色：経済学と経営学を中心に広く社会科学の諸分野を学び、地域で生活し働く人や企業が抱える諸問題を分析し課題解決に取り組む実践的な能力を養います。

教 育 目 標：経済社会で活躍するために不可欠な能力を身に付けさせるとともに、コース横断的な履修や多彩な実践科目の履修を通じて経済社会の課題解決と持続的な地域経済発展に貢献できる人材の育成を目標とする。

学べる領域：ミクロ経済学，マクロ経済学，経済原論，経済史，統計学，経済政策論，社会政策論，金融論，財政学，国際経済学，経営学，会計学，ゲーム理論，環境経済学，など。

■カリキュラムマップ[人間文化コース]

DP6

DP5

DP1

DP4, DP3

DP2

完成



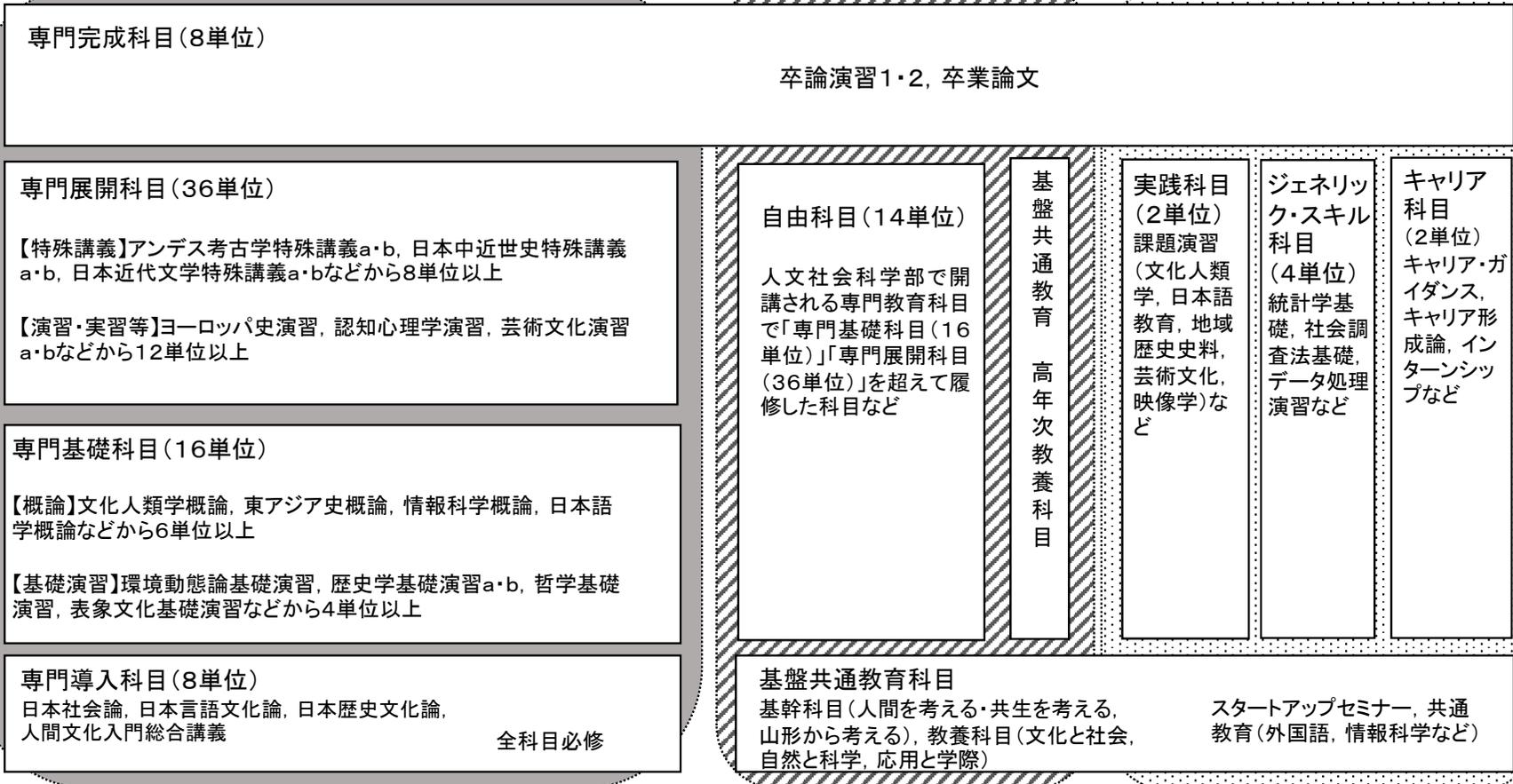
展開



基礎



導入



専門性

CP6

CP5

学際性

CP4, 3, 2, 1

実践性

■カリキュラムマップ[グローバル・スタディーズコース]

DP6

DP4

DP5

DP3 (DP6) (DP4)

DP2

DP1

完成



展開



基礎



導入

専門完成科目(8単位)

卒論演習1(必修), 卒論演習2(必修), 卒業論文(必修)

専門展開科目(20単位)

【講義科目から8単位以上】

①(現代中国論, 英米文化論, ドイツ文化論, 比較憲法, 市民社会論など), あるいは, ②(中国語学講義, フランス文化論, 英語学特殊講義, Japanese Short Storiesなど)

【演習科目から4単位以上】

①(アジア文化演習, ロシア文化演習, ヨーロッパ史演習, 国際法演習など), あるいは, ②(比較文化・文化交流史演習, 英米文学講読, 言語学演習a, 異文化理解演習など)

専門基礎科目(10単位)

国際協力論(必修), 多文化共生論(必修)

【①国際地域研究プログラムの場合】A群(近現代中国文化概論など)から選択(4単位), B群(国際法1など)から選択(2単位)

【②多文化研究プログラムの場合】A群(比較文化・文化交流史概論など)から選択(4単位), B群(中国文学概論など)から選択(2単位)

専門導入科目(4単位)

グローバル・スタディーズ基礎講義(必修), 他コース開講の専門導入科目(選択必修)

自由科目(18単位)

人文社会科学部で開講されるすべての専門教育科目のうち, 本コースの卒業要件となる単位を超えて履修した科目など

基盤共通教育
高年次教養科目

専門語学(12単位)

英語又は英語以外の外国語(中国語, ドイツ語, フランス語, ロシア語のうち一つ)のいずれか

ジェネリックスキル科目(4単位)

データ処理演習, 社会調査法基礎, 統計学基礎から

キャリア科目(2単位)

キャリア・ガイダンス, キャリア形成論, インターンシップなど

実践科目(8単位)

グローバル・プロブレマティク基礎演習, 異文化間コミュニケーション1, 同2, 留学事前演習など

基盤共通教育科目

基幹科目(人間を考える・共生を考える, 山形から考える), 教養科目(文化と社会, 自然と科学, 応用と学際)

外国語

情報科学

スタートアップセミナー

CP6

CP4

CP5

CP3 (CP6) (CP4)

CP2

CP1

専門性

学際性

実践性

■カリキュラムマップ[総合法律コース]

DP6

DP1

DP5

DP2, DP3, DP4

完成



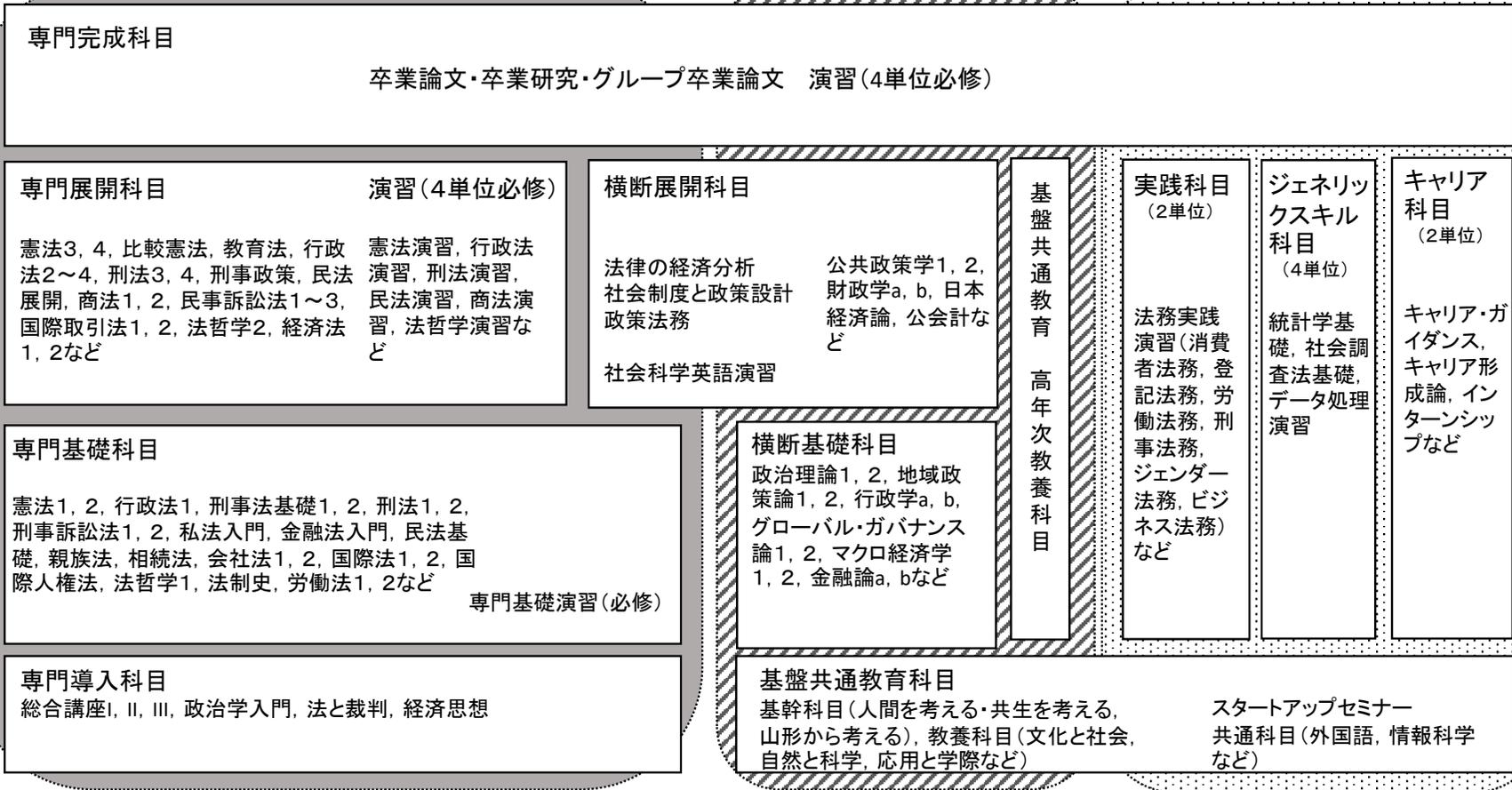
展開



基礎



導入



専門性

CP6 CP5 CP7

学際性

CP1, CP2, CP3, CP4

実践性

■カリキュラムマップ[地域公共政策コース]

DP5

DP6

DP1

DP2, DP3, DP4

完成



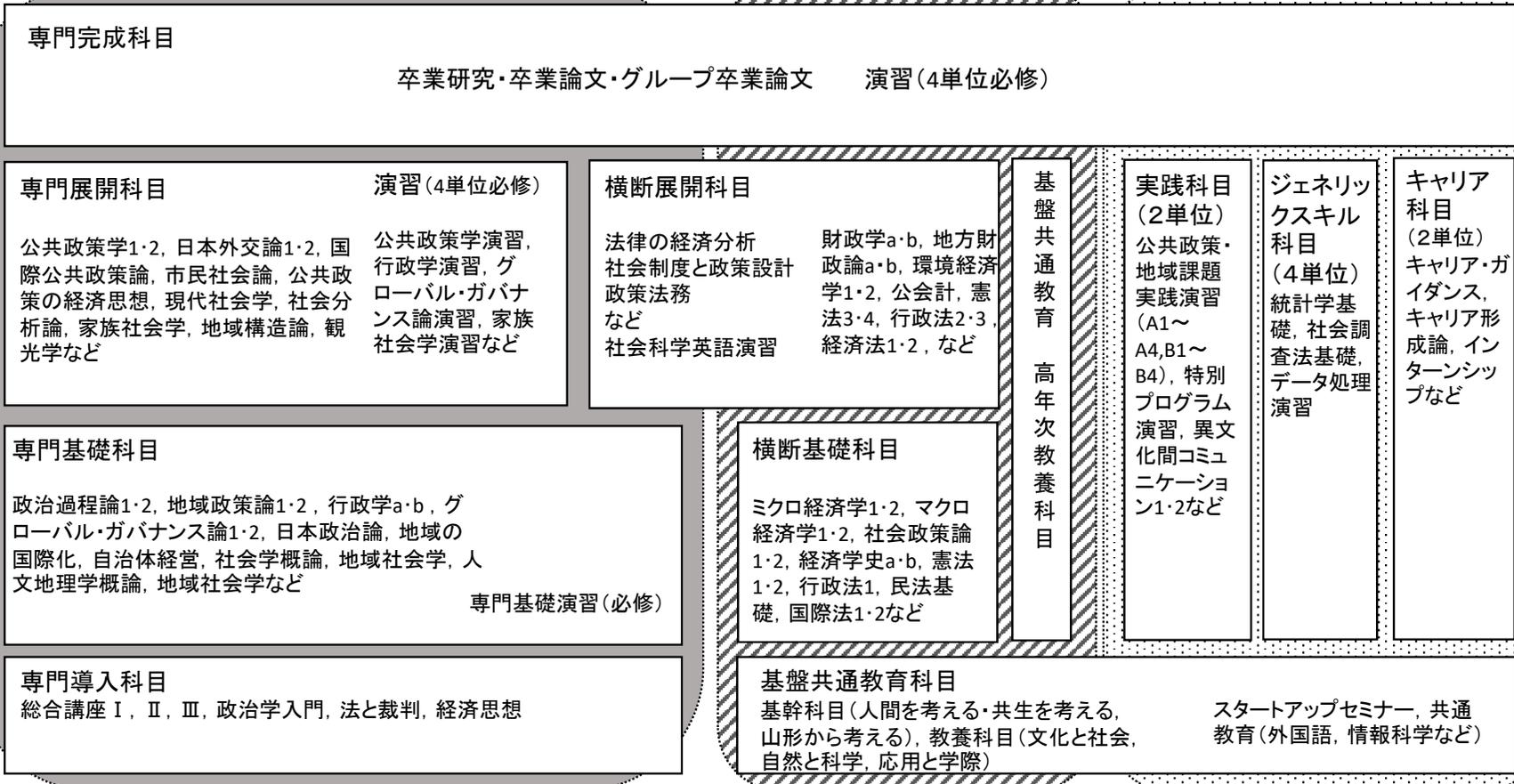
展開



基礎



導入



専門性

CP6

学際性

CP5, 4, 3, 2, 1

実践性

■カリキュラムマップ[経済・マネジメントコース]

DP6

DP1

DP5

DP2, DP3, DP4

完成



展開



基礎



導入

専門完成科目

卒業研究・卒業論文・グループ卒業論文 演習(4単位必修)

専門展開科目

演習(4単位必修)

ゲーム理論1,2, 計量経済学1,2, 財政学a,b, 地方財政論a,b, 国際金融論a,b, 環境経済学1,2, 経営情報a,b, マーケティングa,b, 中小企業論a,b, 管理会計a,bなど

マクロ経済学演習, ミクロ経済学演習, 統計学演習, 財政学演習, 会計学演習, 中小企業論演習など

横断展開科目

法律の経済分析
社会制度と政策設計
など
社会科学英語演習

行政法2, 国際取引法1,2, 経済法1,2, ビジネス与管理入門など

基盤
共通教育

高年次
教養科目

実践科目
(2単位)

企業課題解決型実践演習a,b,c, ビジネス創業実践演習, 特別プログラム演習, 異文化間コミュニケーション1・2など

ジェネリックスキル
科目
(4単位)

統計学基礎, 社会調査法基礎, データ処理演習

キャリア
科目
(2単位)

キャリア・ガイダンス, キャリア形成論, インターンシップなど

専門基礎科目

ミクロ経済学1,2, マクロ経済学1,2, 経済原論1,2, 経済学史a,b, 日本経済史1,2, グローバル経済史1,2, 統計学1,2, 経済情報科学1, 経済政策論1,2, 社会政策論1,2, 金融論a,b, 国際経済学a,b, 経営学a,b, 会計学1,2, 経営組織論, 財務会計a, オペレーションズ・リサーチなど

専門基礎演習(必修)

横断基礎科目

憲法1,2, 刑事法基礎1,2, 民法基礎, 会社法1,2, 地域政策論1,2, 政治理論1,2, 行政学a,b, グローバル・ガバナンス論1,2など

専門導入科目

総合講座I, II, III, 政治学入門, 法と裁判, 経済思想

基盤共通教育科目

基幹科目(人間を考える・共生を考える, 山形から考える), 教養科目(文化と社会, 自然と科学, 応用と学際)

スタートアップセミナー, 共通教育(外国語, 情報科学など)

専門性

CP6

CP5

学際性

CP4, 3, 2, 1

実践性

第2章 人文学部に編入した卒業生の進路

(1) 卒業生の進路と就職実績 (3月卒)

年度	卒業者	大学院進学	就職決定者	就職率
平成29年度	22	1	21	100%
平成28年度	24	0	21	100%
平成27年度	20	1	16	100%
平成26年度	21	0	18	94.7%
平成25年度	21	0	20	100%

(2) 主な就職先・進学先 (平成25年度～平成29年度)

建設業、不動産業	安藤組、黒澤建設工業、東北電化工業
製造業	A S E ジャパン、TPR工業、イトウ製菓、大平洋製鋼、通研電気工業、東北バイオニアEG、トヨタ自動車東日本、にしむら、日立アロカメディカル、日立ドキュメントソリューションズ、リコージャパン
情報通信業	パスカル、ポニーキャニオン、マクロミル、山形テレビ、山形放送
運輸業、郵便業	JR東日本、ジェイエア、新潟運送、日本通運、日本郵便、はとバス、ヤマト運輸
卸売業、小売業	いいつか、遠藤商事、サマンサタバサグループ、東北アストモスガス、中三、卑弥呼、ホシザキ東北、メディセオ、山形スバル、山形三菱自動車販売
金融業、保険業	あいおいニッセイ同和損害保険、かんぽ生命保険、北日本銀行、きらやか銀行、仙北信用組合、全国労働者共済生活協同組合連合会、ソニー生命保険、大東銀行、東京海上日動火災保険、東北労働金庫、日本政策金融公庫、日本生命保険、ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング、農林中央金庫、野村證券、三井住友海上火災保険、山形県農業信用基金協会、山形信用金庫
宿泊・飲食業 生活関連サービス業	J T B 東北、セドナエンタープライズ、星野リゾート裏磐梯ホテル、盛岡ターミナルビル
教育・学習支援業	国立大学法人山形大学、仙台進学プラザ
医療、福祉関係	医療法人徳真会グループ石巻デンタルクリニック、全国健康保険協会、東北自動車協同組合、宮城県市町村職員共済組合、山形健康管理センター
サービス業 (複合サービス含む)	JA山形おきたま、JA会津みどり、JAこまち、花巻農業協同組合、日本管財、ベストファーム、ブレイン
公務員	山形市職員、岩手県職員、山辺町職員、喜多方市職員、新庄市職員、軽米町職員
教員	山形県教員、宮城県教員
大学院	山形大学大学院社会文化システム研究科

第3章「単位」と「読み替え」をめぐる少し難解なお話

皆さんは、短大・専門学校等（以下、短大等）で、自分の専門に応じた専門科目を修得していることでしょうか。しかし、そのような短大等での専門科目を編入学後に所属する教育コースの専門科目に読み替えてしまったら、本来学ぶべき専門とは異なる分野の科目を多く学ぶことになってしまいます。これでは、本末転倒です。

そのような矛盾を避けるために、短大等での既修得の専門科目については、本学部に入学時には、下記「(1) 既修得単位の認定（読み替え）の基本方針」により読み替えるようにします。

(1) 既修得単位の認定（読み替え）の基本方針

単位の読み替えについては、編入学生の皆さんを1年次からの在學生と可能な限り平等なスタートラインに立たせるという方針のもとでなされています。ただし、短大等で履修したある特定の科目を、本学で開講されている特定の科目に自動的に読み替えることはしていません。個々の編入学生によって編入時に必要となる科目が異なりますので、その実情にあわせて、柔軟な読み替えを行っています。

読み替えることができる単位数の上限は**64単位**です。これらを、基盤共通教育の導入科目〔次頁(4)の①〕、基幹科目〔(4)の②〕、教養科目〔(4)の③〕、および共通科目〔(4)の④〕として優先的に読み替えます。

また、短大等で取得した単位が基盤共通教育高年次教養科目とする人文社会科学共通科目群に読み替え可能である場合には、基盤共通教育高年次教養科目として優先的に読み替えます。上記で読み替えられた単位数が64単位に満たない場合、残りの単位数を専門教育科目として読み替えます。

なお、上記の読み替えの内訳は、一定の目安であり、一つの具体例です。編入学生の既修得単位の状況や編入後の専門課程の教育内容などの実情を勘案し、編入学生の要望にできるだけ沿う形で柔軟に読み替えるというのが基本方針です。読み替えの時、単位の不足になりやすいという理由から、**外国語の読み替えについては、特に優先してなされています。**

(2) 人文社会科学部の単位の数え方

大学の各科目の成績については、評価点（点数）とは別に、「単位」という概念があることはご存知のことと思います。この単位の数え方は、大学によって異なります。山形大学人文社会科学部では、以下のような2つの異なる単位区分を持っています。

①講義・演習等の1コマ（90分）の授業は2単位となります。授業は15コマで構成されています。

②社会科学系3コースで開講される演習（ゼミ）については、2コマ（180分）の授業で2単位となります。授業は30コマで構成されています。

(3) 短大等での外国語の単位取得に関して

英語および初修外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語及び韓国語）は、それぞれ必修となります。1年次基盤共通教育における外国語クラス（共通科目）の1コマ（90分）の授業は1単位となります。授業は15コマで構成されています。つまり、それ以外の授業とは異なり、同じ時間（コマ）を費やしても、半数の単位数となりますので注意してください（2年次以降の学部専門科目の外国語は、他の授業と同じように2単位となります）。そこで、短大等の英語に関しては、最低限6単位分（1年次15コマ×4=4単位に加えて2年次以降15コマ×1=2単位）以上取っておくことをお勧めします（コミュニケーション・スキル1の必修単位数は、人間文化および社会科学系3コースが6単位、グローバル・スタディーズコース（以下、GSコース）が10単位です）。同様に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語及び韓国語が、所属している短大等で開講されているならば、そのうちの1つの語学をできる限り多く取るようにし、最低限4単位分（15コマ×4=4単位）取っておくことをお勧めします。

※短大等で取得した上記の外国語（英語と初修外国語）の単位が、必修単位数に対して不足している場合は、編入後に、1年次の学生と共に授業に出て、その不足分を補うことが必要となります。

※またスペイン語を履修している場合には初修外国語の単位とはなりません、学部共通科目として認定可能です。

(4) 基盤共通教育（導入科目、基幹科目、教養科目、共通科目）とは？

山形大学では「基盤共通教育」の履修が義務づけられています。「基盤共通教育」は、一般教育や教養教育的な内容を持つものです。「社会に求められる豊かな人間力」という山形大学の理念の下に再構築された教育プログラムで、人間文化および社会科学系3コースは39単位以上、GSコースは43単位以上が必修です。人文社会科学部の基盤共通教育の履修の詳細は以下の通りです。

- ①導入科目「スタートアップセミナー」（2単位）は、必修・重複履修不可です。
- ②基幹科目は、「人間を考える・共生を考える」から2単位、「山形を考える」から2単位、計4単位を修得しなければなりません。選択必修・重複履修不可です。
- ③教養科目は、以下の(a)と(b)両方を満たす20単位を修得しなければなりません。
 - (a)1年次から履修する教養科目（「サイエンス・スキル」「キャリアデザイン」を含む）から14単位修得しなければなりません。バランスよく履修することが望ましいので、「文化と社会」の領域から2単位以上、「自然と科学」と「サイエンス・スキル」の2領域から2単位以上、「応用と学際」、「キャリアデザイン」の2領域から2単位以上の修得が義務づけられています。
 - (b)高年次教養科目 2年次以降に履修する教養科目として、人文社会科学共通科目群から、自分が所属するコース以外のコースで開講されている授業科目を、高年次教養科目として6単位修得しなければなりません。選択必修・重複不可です。
- ④共通科目は、以下の(a)～(c)を満たす13単位（GSコースは17単位）を修得しなければなりません。
 - (a)1年次から開講する共通科目（「サイエンス・スキル」「キャリアデザイン」は除く）は、「健康・スポーツ」から1単位、「情報科学」2単位（「情報処理」2単位）、「コミュニケーション・スキル1」4単位（「総合英語」2単位および「コミュニケーション英語」2単位）、「コミュニケーション・スキル2」4単位（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語及び韓国語のうちから1か国語4単位）、計11単位を修得しなければなりません。
 - (b)2年次以後に開講の英語科目（GSコースは6単位、他のコースは2単位）を修得しなければなりません。
 - (c)外国人留学生を対象として、「コミュニケーション・スキル2（日本語）」について、「コミュニケーション・スキル1又は2」の単位に振り替える場合は、コミュニケーション・スキル1又は2のどちらか一方に振り替えることができます（2単位のみ振り替え不可）。

※基盤共通教育関連の科目の単位数が不足していると、編入後に、基盤共通教育の科目の履修が必要になります。所属の短大等で、あらかじめ教養的な内容の科目をなるべく多めに履修しておくことをお勧めします。

※特に、情報科学（情報処理）については、できるだけ短大等で同様の科目を履修しておいてください。

(5) ジェネリックスキル科目について

人文社会科学部全てのコースにおいて、文系人材に求められる基礎情報技能や課題発見・課題解決に必要とされる科学的な分析や考察ができる基礎力を身につけるため、ジェネリックスキル科目（IT、統計、社会調査）が専門教育科目の学部共通科目として必修となっています。具体的には、2年次以降、「データ処理演習」、「統計学基礎」、「社会調査法基礎」から2科目を選択して履修しなければなりません。このような科目（必要な授業内容が含まれていることが条件）が現在所属の短大等にある場合、それらをジェネリックスキル科目へ読み替えることができます。

(6) 異なる専門領域に編入学する場合はご注意

編入学後、皆さんに残された時間は2年間しかありません。卒業までにそろえるべき単位に注意してください。たとえば、高等専門学校のような理科系からの編入学や、これまで学んできた専門を大きく変えることになる場合は、規定の年数での卒業は大きな困難を伴うこととなります。本ガイドと共に配付される学生便覧をよく読み、自分の希望する専門領域の教育コースで開講される授業科目（特に専門導入科目と専門基礎科目）を十分に確認し、同様の科目が所属している短大等で開講されている場合はできるだけ取っておくことをお勧めします。単位の読み替えができない場合には、たとえば1年次生向けに開講されている専門導入科目を履修するために、3年次生向けの授業科目を履修できず、結果的に卒業が遅れることもあります。

GSコースでは、原則として海外研修が必修となっています。実践科目「海外研修／国内インターンシップ」4単位について、「異文化間コミュニケーション1」「異文化間コミュニケーション2」の履修によってその一部または全部にあてることが出来ます（学生便覧 p.26 参照）。短期語学研修や留学によって短大等の単位を取得した場合は、これらの科目に読み替えることができますので、現在所属の短大等にこのような海外研修授業科目がある場合は、積極的に履修することをお勧めします。

社会科学系3コースでは、所属するコースによって選択可能な演習（ゼミ）が限定されています。出願する際には、専門的に学びたいことを明確にしたうえで、コースの選択を行ってください。

第4章 編入学生に聞きました！

山形大学人文学部に編入学された5名の皆さんの体験談を紹介します。

編入学を希望される方のために書いていただきました。短大等に在学しているうちになすべきことや気を付けておくべきこと、入試対策の実践的方法、また、山形大学人文学部に編入学すると出来ること（あるいは、戸惑うこと）、等々の貴重なお話が聞けます。どうぞ、参考になさってください。



4年制大学からの編入学

人文学部・人間文化学科
吉松 里紗

私は編入をする前は神奈川の4年制大学のメディア・情報関係の学部にて在籍していました。

授業で社会心理学を受講した際に、「対人魅力」「人の感情」にとっても興味を持ち、より深く学びたいと思うようになり編入を決意しました。

心理学で編入学を実施している大学は限られていて、その中でも私が特に学びたいと思っていた「感情心理」を専門とされている先生が山形大学にいらっしゃったため、強く志望しました。

しかし実際、4年制大学からの編入は精神的につらく、常に自分との戦いでした。周りの学生は編入を考えている人などいないため、サークル活動やアルバイトで充実している友人が多い中、その中でモチベーションを保ちながら、受かるか分からない未知の編入試験の勉強をやり続けるのはとても不安でした。

また、前の大学の授業やテストと並行しながら、専門科目である心理や英語、小論文、面接の勉強をするのはなかなか大変でした。

その中で私は個別の塾に通い、試験科目は全て1人の先生に見てもらっていました。とても優しく前向きな先生で、「ちゃんとやっていたら必ず受かりますから」という言葉を信じて勉強し、その通りにやっていたら本当に合格しました。

大学を変えた今、実際編入すると単位が他の同学年に比べて少ないため、授業はたくさん取らなければなりません。やはり、いくら編入試験を合格したと言っても同じ心理学コースの友人と比べて、2年間の基盤の違いを埋めるのは容易なことではありません。授業でも自分だけ呑み込む早さが遅いと感じることも多々あります。しかし、そのような様々なリスク、大変さはありますが、興味のある分野をとことん学べる楽しさ、前の大学では触れ合えなかった他の学問、友人と出会い、編入してよかったと心から思っています。

合格するまでは本当につらいと思いますが、その先には明るい未来が待っています。志したきっかけ、気持ちを大切に、頑張ってください。

(東京都市大学メディア情報学部社会メディア学科)



編入後の学生生活について

人文学部・人間文化学科
亀橋あかり

私が短期大学から4年制大学への編入を決めたのは、一年生も終わるころ。編入学にも力を入れている米短の中では、遅い方だったかと思います。当初の目的は国語の教員免許を二種から一種にグレードアップさせることでしたが、異国の文化を知ることによって徐々に惹かれてゆき、現在はグローバル文化学コースで台湾文化を中心に学んでいます。

私からは、山形大学に編入学してからの学生生活についてお話しします。多くの方は、卒業単位をちゃんと取れるかについて不安を抱えているのではないのでしょうか？確かに最低でも64単位を取ることは大変ですが、編入学の勉強と授業を並行している皆さんなら大丈夫！私もアルバイトをする時間はありますし、サークルに参加している同級生もいます。四年生になると就活や卒論も本格的に始まるので、ほとんど三年生のうちに取るつもりでいきましょう。特に教職や公務員講座に臨む方は忙しいようなので、それぞれ経験している編入生の先輩にアドバイスをもらって全体の履修を考えてみてください。

山形大学では貴重な体験も待っています。私の中で一番印象に残っているのは、台湾での二週間の海外研修です。観光地を巡るだけでなく中国語を学んだり現地の大学生と協力して調査をしたりと得るものが多い研修でした。山形大学には海外研修が豊富で、その年によってフィリピン、オーストラリア、南米など多様な行き先があります。「海外に興味はあるけど、留学はハードルが高いな…」とされている方、ぜひ山形大学で短期から挑戦してみてください。そこからまた学びの選択肢が広がりますよ！

何かと不安は多いかと思いますが、山形大学は比較的編入生が多い大学です。困ったこと、不安なことがあったら、まずは同じ境遇の友だちや先輩に話してみてください。それだけで気が楽になりますよ。

(山形県立米沢女子短期大学国語国文学科)





『高専からの編入学』

人文学部・人間文化学科
齋藤 夏紀

こんにちは、人文学部人間文化学科言語コースの齋藤です。ここでは私の高専から大学への編入学体験談をお話します。

私は福島工業高等専門学校を卒業し、山形大学に編入学しました。(高専出身というと理系と思われがちですが、私は文系の学科に所属していました。) 福島高専では経営学、経済学、情報処理、人文学など多岐にわたり学習してきましたが、特に好きだったのは言語学や異文化に関する授業でした。そんな時、海外で語学研修する機会があり、そこで私は“日本人なのに日本の文化や言葉について何も知らない自分”に出会いました。これが編入学を考えるきっかけでした。この時から言語学や異文化に関して「好き」から「もっと勉強したい」という思いを抱くようになったのです。そして次第に日本語学への関心が強くなり、言語コースがある山形大学への編入学を希望するようになりました。しかし過去に高専から編入学した先輩方のほとんどは経済学や経営学を専門とする学部へと進んでいて、山形大学のまして人文学部へ進学した人は数えるほどしかいませんでした。情報が少ない中、焦りや不安はもちろんありました。それに加え、試験は英語、小論文そして面接と私の苦手なものばかりで諦めそうになったこともありました。ですが編入学は自分で決めたこと。最後までやりきろうと思い、何本も小論文を書いては国語科の先生に採点をお願いしました。指摘されることを怖がらずに、様々なジャンルのお題の小論文を書いて採点してもらうことをお勧めします。面接に関しても複数の先生に何度も練習をお願いし、自信がつくまで先生方を巻き込みました。周囲の協力があつたからこそ私は大学という新しい世界へ飛び込むことができたのだと思います。

編入学を考えているみなさん、新たな世界と出会いに向かってぜひ頑張ってください。この体験談が少しでもお役に立てば幸いです。読んでくださりありがとうございました。(福島工業高等専門学校)





編入学体験記

人文学部・法経政策学科
小野聖理佳

私は社会情報系の短期大学を卒業し、法経政策学科に編入学しました。小学生のころから法律を勉強したいと思っていたのですが、短期大学には法律を学べるカリキュラムが十分になく、自分のやりたい勉強をせずにこのまま就職したら将来絶対後悔すると思ったため、法律を学べる法経政策学科への編入学を志望しました。

編入学の試験は小論文と面接でした。小論文については、新聞の社説を読んで要約したり社説で取り上げられている話題について自分の意見をまとめたりしていました。山形大学の小論文の試験は字数制限がないと聞いていたので、自分たちの試験でもその傾向通りであることを願い、字数を気にした対策などはしていませんでした。面接については、山形大学へ編入学された短期大学の先輩方が残してくださった情報をもとにどんなことを聞かれるのかを予想していましたが、自分が話したことについて詳しく聞かれるというような内容だったため、自分のやりたいことや考えを自分の言葉で話せるようにしておく、短期大学での卒業論文についてまとめておく、くらいの対策しかしませんでした。面接と言っても言ってしまえば面接官との対話なので、あまり難しく考えずにリラックスして挑みました。

編入学試験を受験するにあたり私が一番苦労したのは志望理由書でした。私の場合、「法律を学びたい！」だけで具体的にどんな法律を学びたいのか、何故そう思ったのか、学んでどうしたいのか、などが漠然としており文章として書きだすまでにかなり時間がかかりました。志望理由書は面接試験の資料としても使われるので、不安がある人はゼミの先生などから目を通してもらうといいと思います。

山形大学は短期大学などで取得した単位の変換・認定にとっても柔軟に対応してくれます。また、編入学生も多いので仲間もすぐにできます。不安を感じることもあるかと思いますが、学んできたことに自信を持って頑張ってください！

(山形県立米沢女子短期大学社会情報学科)





編入体験記

人文学部・法経政策学科
嶋山 和憲

山形大学に編入学する以前、私は岩手県の経済系の短期大学に在籍していました。短期大学では、経済格差を専門に扱うゼミに所属していました。知識を取り込んでいくうちに、もっと自分の知識を深めたいと感じ、4年制大学へ編入学したいと考えるようになりました。

山形大学の人文学部を選んだ理由は、経済系の知識に加え法律の知識も学ぶことができ、自分が学びたいと思える環境が整っていると感じたためです。

法経政策学科の編入試験は、小論文と面接の2つでした。今回は私が対策として行っていたことを紹介したいと思います。

まず、小論文についてです。どのような問題が出題されるのかを把握するために、歴代の先輩方が残していった過去の問題を数年分解いてみました。問題を解き終わった後は、ぜひ添削してもらうことをお勧めします。また過去の問題を解くことに加えて、自分の知識量を増やしていくことも大切になってくると思います。私は、『日本の論点』などの時事に関する本を読んで、出題される問題に自分なりの意見を反映できるように練習をしました。小論文を書く上で気を付けていたことは、必ず自分とは反対の意見を考慮して書くようにすること。読み手が一読して理解ができる文章を書くことでした。

次に面接に関する紹介をしたいと思います。面接は自分が編入してから学びたいこと、それを社会に出てからどのように活かしていきたいかを伝えることが大切です。試験本番は自分がなぜその分野を学びたいのかを説明できることが大事です。私の場合、「普段通り話してもらって大丈夫ですよ」と言われるくらい緊張していました。自分が身に付けてきた知識と編入してから学びたいことをしっかり伝えられるよう気持ちを落ち着けて試験に臨んでほしいと思います。

編入した後は、新しい知識をたくさん吸収することができるので、自信をもって試験に臨んでください！

(岩手県立大学宮古短期大学部経営情報学科)



